

川崎市概要

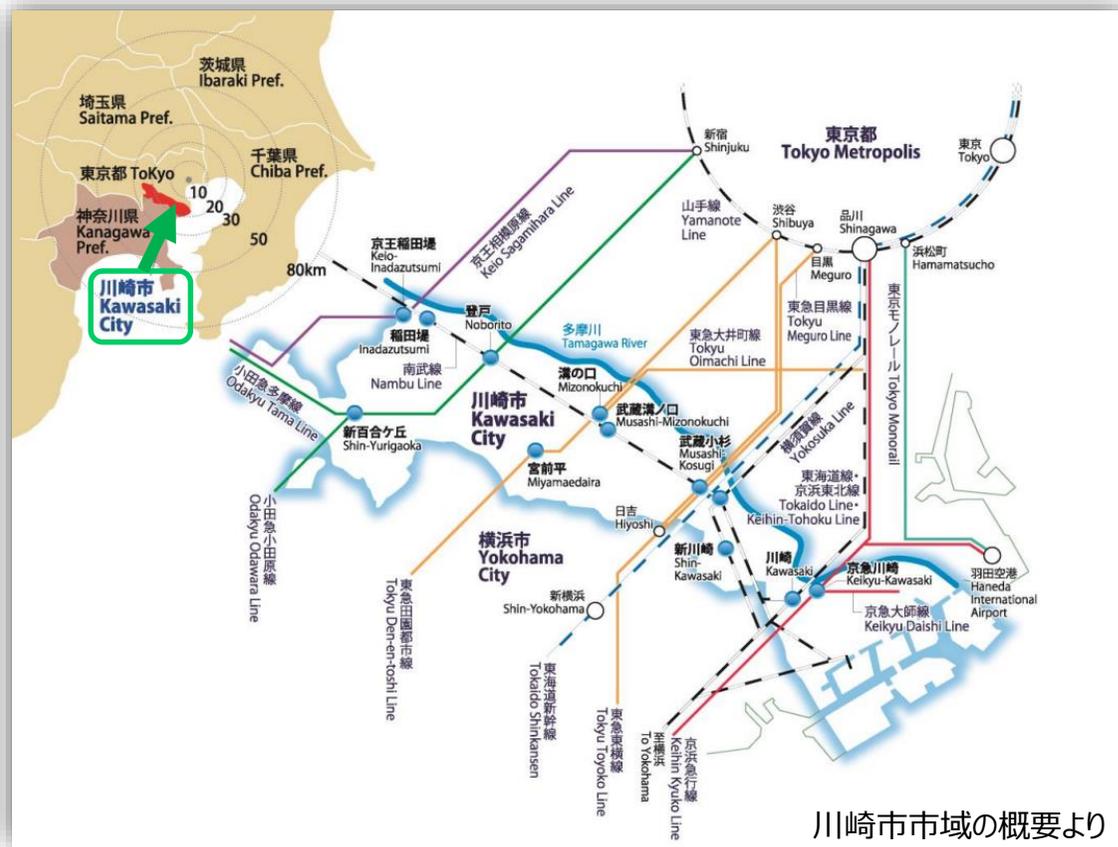
人口 1,545,711人

世帯数 773,052世帯

面積 144.35km²

政令指定都市

- ✓ 神奈川県の北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接した細長い地形
- ✓ 東京湾側から川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区からなり、交通のアクセスも良い
- ✓ 高齢化率は全市では20.5%。区によって15.6%から24.9%と状況が違う
- ✓ 令和5年度に厚生労働省の公表した令和2年市区町村別生命表によると麻生区は男女ともに長寿日本一



川崎市の歯科保健事業

ライフステージに合わせた事業

乳幼児



育児相談

1歳児歯科健診

1歳6か月児健診

3歳児健診

スマイル歯みがき教室

成人

両親学級

スマイル歯みがき教室



歯科相談（窓口・電話）

衛生・健康教育

お口の健康フェア

災害時の口腔ケア

区オリジナルの活動に参画

高齢者

介護予防事業

オーラルフレイル



歯科検診

- ・歯周疾患検診
（40・50・60・70歳対象）
- ・歯っぴーファミリー健診
（妊婦・パートナー対象）

歯科保健センター等事業

- ・年末年始等急患診療事業
- ・障害者・高齢者等歯科診療事業
- ・中原歯科保健センター
- ・百合丘歯科保健センター
- ＊ 歯科医師会館は現在、建替え中
- ・地域歯科診療対応力向上研修事業

フッ化物洗口事業

市内、保育所（25園で実施）

モデル事業実施の流れ（簡易検査）

実施概要：
両親学級、1歳児健診等
対象者：約850名
実施日程：
2023年10月～11月
リスク検査実施者数：23名
(アプリ登録者：38名)
登録率：4.5%
検査実施率：2.7%

01 モデル事業参加 説明会・個別面談

6月～7月

- モデル事業に関する説明会に参加



02 関係者調整

7月～8月

- モデル事業参加に向けて川崎市とモデル事業実施事務局で実施の方法・内容・スケジュールを個別相談
- 川崎市での調整



03 受診案内等準備

9～10月

- アプリの案内チラシ作成、周知



04 簡易な歯科検査（アプリ） 実施

10月～11月

- 両親学級にて実施
(チラシのみ配布)
- 1歳児歯科健診にて実施
- スマイル歯磨き教室にて実施
(歯科医療職が事業後に説明)



05 とりまとめ

1月～2月

- アプリの実施状況等についての事後アンケートの実施



マスクをはずしたあなたのお口は大丈夫？

Q 他人において「嫌だな」と気になるもの1位は？

こたえは・・・ **口臭**

その口臭の原因は **歯周病**かも？

口臭の約90%は歯垢や歯周病等が原因です

まずは手軽にチェック！
歯周病リスクチェックアプリが今だけ**無料**

歯、歯ぐきと舌を自撮りするだけ

歯ぐきの状態 | 歯ぐきの状態 | 口臭リスク

無料で何度でも利用可能 (2023年11月31日まで)
良くなっているか自分で確かめられます。

お子さんの健診のついでに！
お口の状態を気軽にチェックしましょう

申請・アプリの実施は裏面へ

◀ 配布チラシ (表)

口臭・歯ぐきチェック実施方法

申請 | チェックの実施 | アンケート

約3分

自宅で、今の口臭・歯ぐきの状態を
スマホで手軽にチェックできます！

歯周病と
関係のある様々な病気

●糖尿病 ●肥満 ●脳梗塞
●認知症 ●心臓病
●乾性気管支炎
●骨粗しょう症
●関節リウマチ
●低体重児出産

30代以上の
3人に入れば**歯周病**
進行する前に
歯科医院に行こう！

歯周病は
予防・改善が可能です

セルフケアと
歯科医院での「プロケア」で
予防・改善しましょう

セルフケア
●歯磨き
●歯間ブラシ
●フロス

プロケア
●歯磨き指導
●歯垢除去
●フッ素塗布

▶ 配布チラシ (裏)

モデル事業実施にむけた準備

1. 局内で関係者との調整

- ・参加に際して、『何を目的になんのために実施するのか』について認識を共有
- ・歯科保健政策担当および健康増進担当で資料を作成し、説明



2. 各区役所との調整

- ・地域支援課長会議での周知
- ・両親学級等を担当する他職種への周知
- ・区勤務の歯科衛生士への周知



3. その他、関係団体にモデル事業参加の報告

- ・市歯科医師会へのモデル事業参加についての説明
- ・協会健保等、市の職域団体へのモデル事業の参加について説明

→今後、局内で実施結果の報告を行っていく予定

両親学級での実施



1歳児歯科健診・スマイル歯磨き教室での実施 (保護者対象)



年代別検査結果内訳

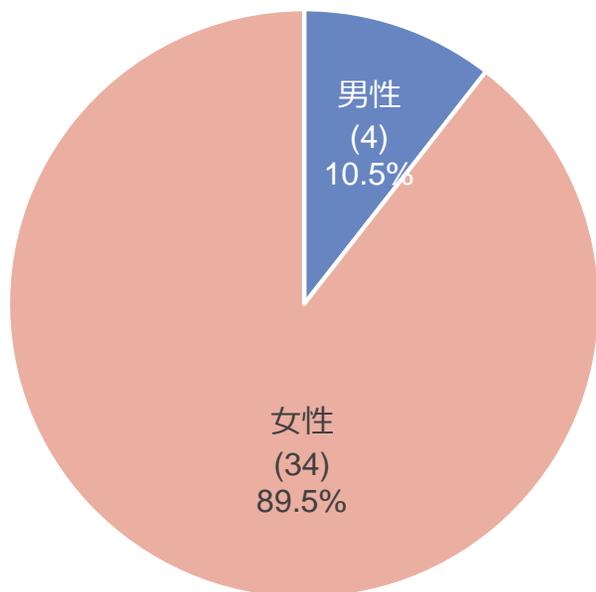
	A リスク低	B リスク中	C リスク高	総計
20代	0	0	2	2
30代	1	3	5	9
40代	0	3	2	5
50代	0	0	1	1
60代	0	0	1	1
70代	0	0	0	0
無回答	0	2	3	5
総計	1	8	14	23

参加者の属性

参加者の性別は、女性が約9割であった。また、参加者の年齢構成は、30歳代が最も多く、次いで40歳代が多かった。

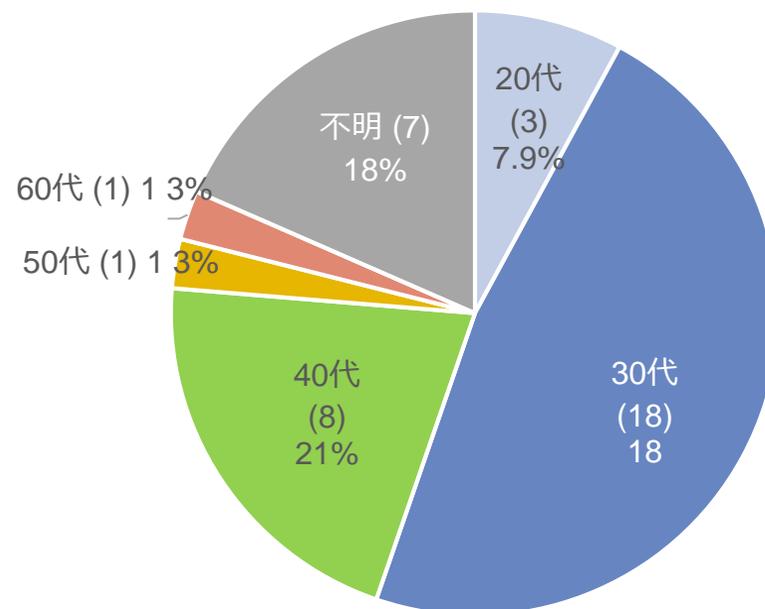
..... モデル事業参加者の性別

n=38



..... モデル事業参加者の年齢構成

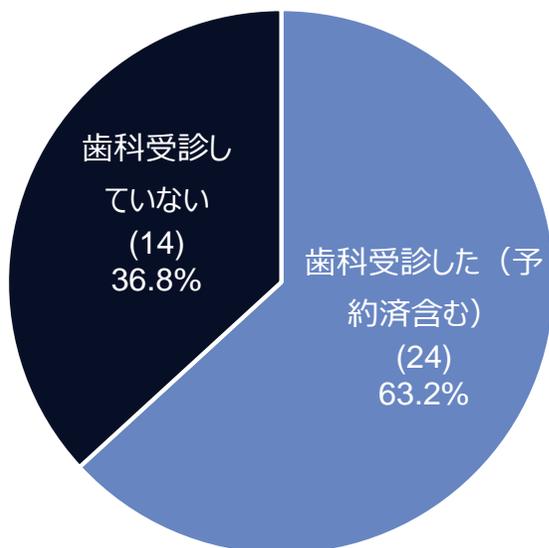
n= 38



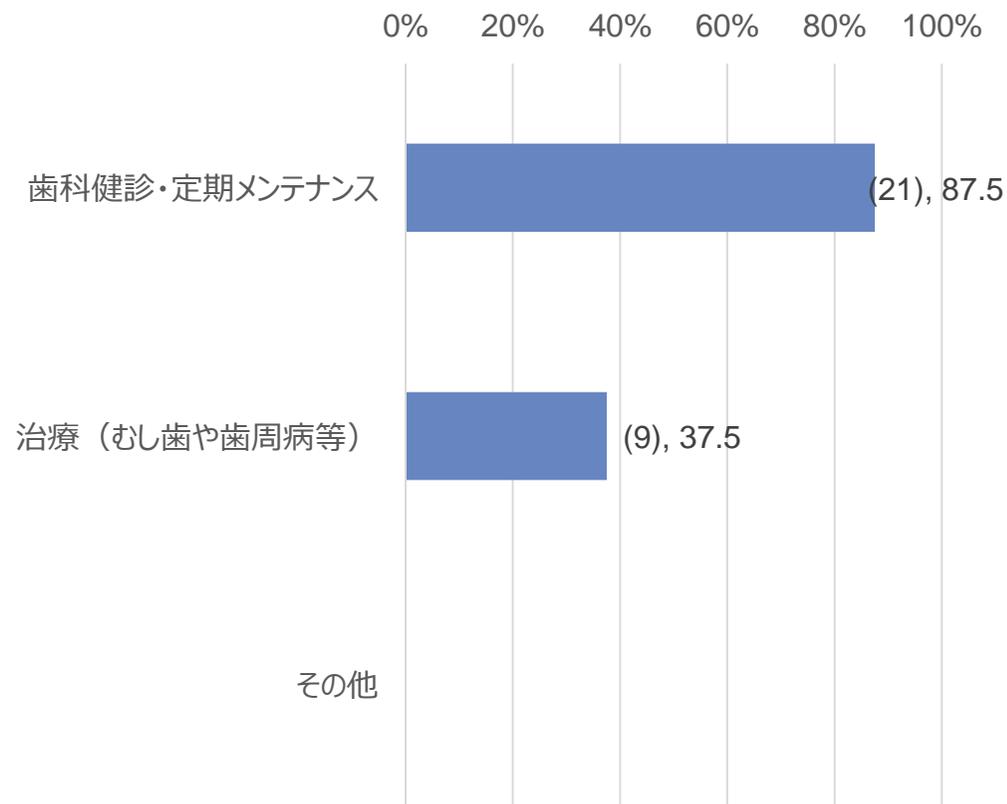
簡易な歯科検査（アプリ）実施前の参加者の歯科受診状況

簡易な歯科検査（アプリ）の実施前の過去1年の歯科受診率は、63.2%であった。
また、その受診理由は、87.5%が歯科健診・定期メンテナンスであった。

簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診率 n=38



簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診目的 n=24



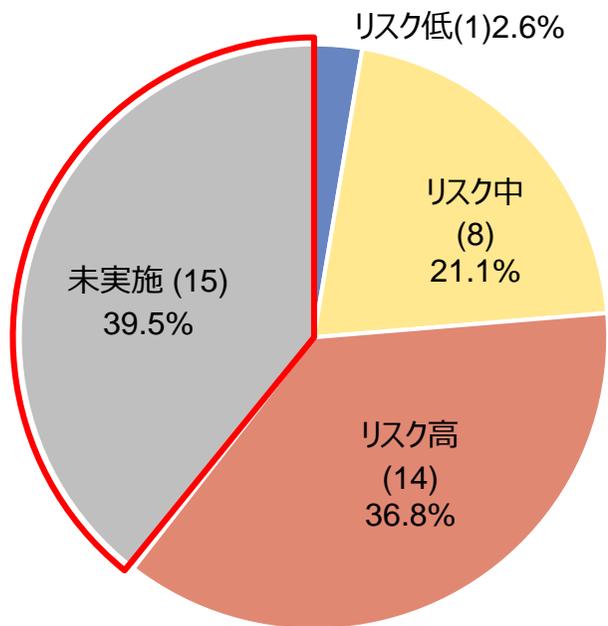
簡易な歯科検査（アプリ）の実施結果とその後の歯科受診状況

- 簡易な歯科検査（アプリ）実施の結果、リスクが中程度の者は21.1%、リスクが高い者は36.8%であった。また、アプリの登録をしたものの、実施をしなかった（未実施）者が39.5%であった。
- 検査後の歯科受診状況は、リスクが高かった者で、「受診した」「受診するつもり」の者がそれぞれ、1名、3名いた。

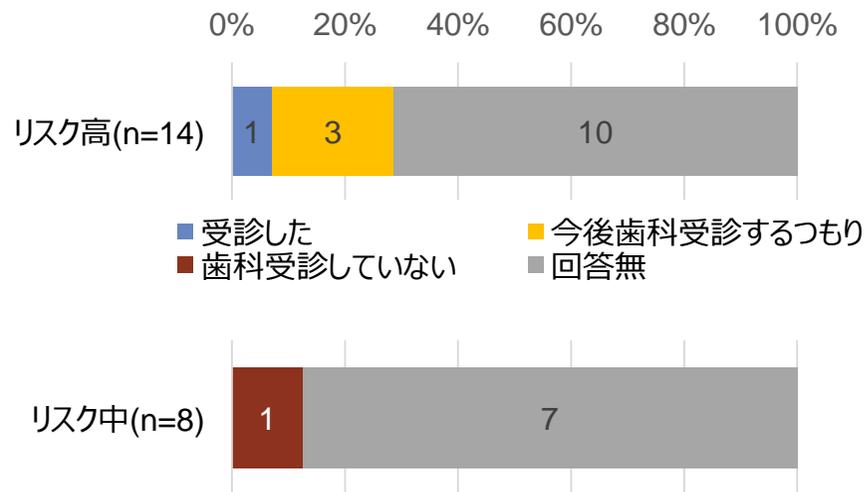
簡易な歯科検査の結果とその後の歯科受診状況

簡易な歯科検査（アプリ）の結果

n=38



簡易な歯科検査（アプリ）の結果別での歯科受診状況



➡ アプリ実施においては、登録したものの未実施のままの者が一定割合存在することから、検査実施につなげる工夫が必要である。リスクが高かった者のうち、28.6%が「受診・受診するつもり」との回答で受診につながる可能性があることが分かった

簡易な歯科検査（アプリ）実施後の知識やセルフケアへの意識

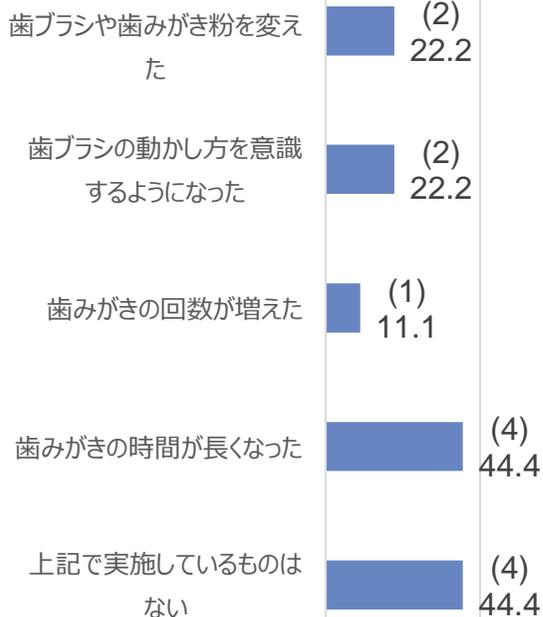
- 簡易な歯科検査（アプリ）を実施をきっかけに知ったこととして、「30歳代でも歯周病になる」が88.9%、「痛みがなくても静かに進行する」が66.7%と高かった。また、アプリ実施後の行動の変化として「丁寧な歯みがき」を実施する者が66.7%であった。

セルフケア・意識・知識の変化

簡易な歯科検査（アプリ）後の 歯みがきでの心がけ

n=9

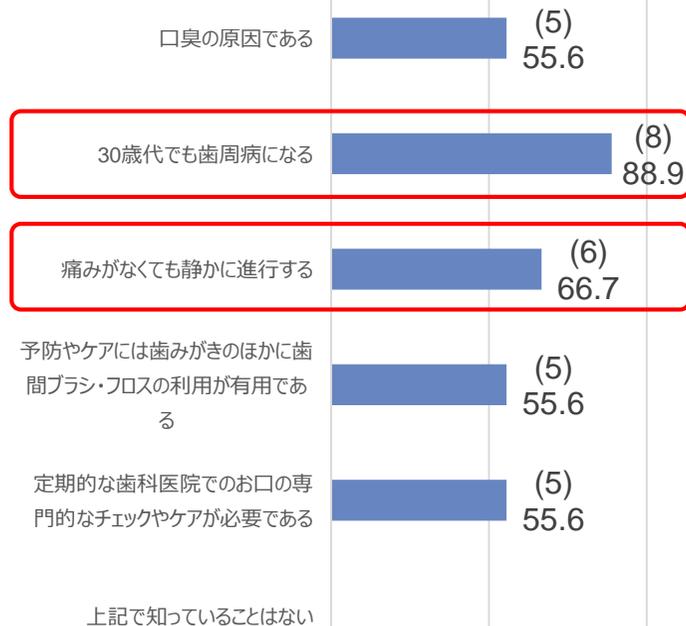
0% 50% 100%



簡易な歯科検査（アプリ）を きっかけに知ったこと

n=9

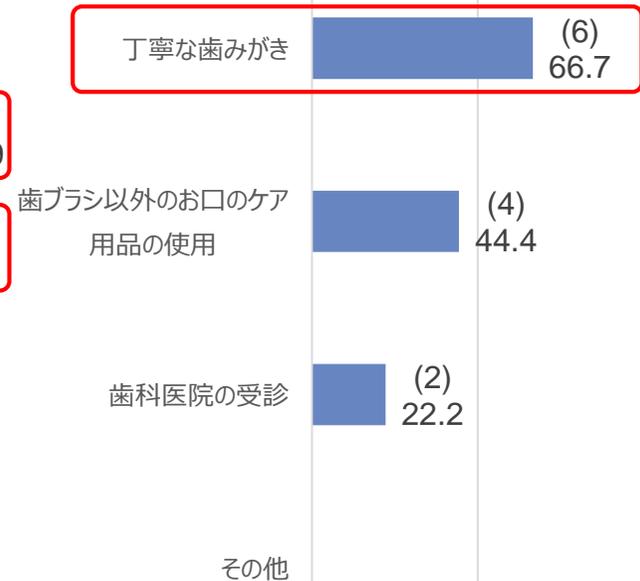
0% 50% 100%



簡易な歯科検査（アプリ）後の お口のケアに関する行動の変化

n=9

0% 50% 100%



20～40歳代を中心とした子育て世代や働き盛り世代では、アプリをきっかけに歯周病の正しい知識の習得や歯みがきやお口のケアに関する行動が良い方向に変化する可能性がある。

モデル事業を通しての成果と課題

成果

- ✓ 若年層（子育て世代等）の口腔の状態とその後の行動についての状況が明らかになった
- ✓ モデル事業を通じて、本庁や各区役所の行政内の他部署に対して、歯科保健の取組について紹介する機会を得た
- ✓ 簡易な歯科検査（アプリ）は、低コスト（1人あたり数百円程度）で、人件費もかからないことから、子育て世代や働き盛り世代等では導入しやすい手法である可能性が高いことがわかった
- ✓ 簡易な歯科検査（アプリ）での啓発の取組は、行政内でもまだ少ないが、今後のICTの活用等の在り方も含めて、担当内で検討する機会を得たと同時に行政内の他の職種の関心も高かった

モデル事業を通しての成果と課題

課題

- ✓ 歯科健診や他の簡易検査とは違い、簡易な歯科検査（アプリ）は条件や時間を問わずに実施できるが、参加者が多くなかった
 - アプリのメリットはリスク検査をやりたい人がやりたい時にできることであり、そのメリットを広く周知していくことが重要
- ✓ 母子保健事業では、子どもがぐずっていたり、泣いていたりとすると、その場での実施やアプリの詳細について伝えることが難しかった
- ✓ 両親学級では、チラシ配布のみで周知したが、参加者数は少なかった。両親学級は色々な情報を多職種が提供する場であり、情報が埋もれてしまった可能性がある。
 - チラシの配布は普及啓発の一つの手法であるが、配布方法や機会に関しては検討が必要
 - 今回の参加者のように他の目的がある集団に対して、こちらの啓発したい内容を効果的に伝えることが難しい

今後の展開に期待すること

ICT等の活用に関して

- ✓ 簡易な歯科検査（アプリ）は、歯科健診や他の簡易検査とは違い、条件や時間を問わずに実施できる。やりたい人がやりたい時にアプリにアクセスし、実施できるような環境作りができるとよいのではないかと
- ✓ 今後、色々な場面でのICTの活用が行われていくなかで、歯科でもアプリ等の使用を推進していくこととなる可能性があるが、どういう場面でどういう周知で実施するとメリットが届きやすいのか、引き続き、検証を進めてほしい

アプリの内容に関して

- ✓ 若年層は効率的なことももちろんだが、見た目にも重点をおいているので、審美的な側面（歯の白さや歯並び）等のアドバイスもアプリにはいるといいのではないかと（写真とる＝身だしなみ）
- ✓ アプリ等を利用した歯科保健行動やオーラルフレイル予防の習慣化等の要素も組み入れて利用できるとよいのではないかと

これからはじまる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



2024年、川崎市は市制100周年